

図書館だより

江北高校図書館

第7号 2024.11

最近、人気の高いジャンル

〈モキュメンタリー〉とは？

作り物(フィクション)の話を あたかも実話(ドキュメンタリー)のような見せかたで進めていく、小説や漫画・映像作品のことです。

図書館で所蔵しているのはこちら▼



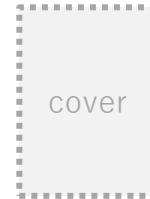
変な家
著：雨穴



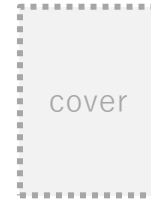
変な家 2
著：雨穴



変な絵
著：雨穴



近畿地方のある
場所について
著：背筋



お前の死因にと
びきりの恐怖を
著：梨

現実にも起こり得そうなリアルさが魅力の“モキュメンタリー”。

ネット上には様々な映像作品も公開されています。

新作も続々入荷しているので、興味のある人は読んでみてください！

11 月に入荷▶



穢れた聖地巡礼
について
著：背筋

12 月に入荷▶



右園死児報告
著：真島文吉



図書紹介



『おかえり～虹の橋からきた犬』 新堂冬樹

最近、SNS ではペットが死んだときに「虹の橋を渡る」という表現をする人が多い。先日、西田敏行が亡くなった時に木村拓哉が「西田さんが虹の橋を渡った」と言ったために叩かれていた。確かに面白い表現だが決して間違っていない。というのはこの表現、もともとペットは死んだ後に天国の手前の虹の橋のたもとで飼い主が来るのを待っていて一緒に虹の橋を渡るという米国の「詩」なのである。という事でこの本はペットを飼っている人なら読んで泣けるお話なので泣いてください。

cover

『へそまがり日本美術』 府中市美術館

この表紙の絵を見たことはありますか？

教科書にも載るような有名人が描いた絵です。絵のタイトルは『兎図』。大きな耳が2つ、毛もフワフワと描かれていて、確かにウサギ感があります。でもよくよく見てみると、だいぶ個性的というか、不気味というか、“画伯”というか…。こんな感じのゆるい日本画を紹介する本です。大きいサイズで見てもらいたくて展示コーナーも作りました。プチ美術館のつもりで観に来てください。

cover

3年生の皆さんへ

3年生の登校期間も残り2か月です。まだ一度も図書館で本を借りたことのない人は、高校生の中に一度は図書館を利用してみましょう！